

島三小育友会報  
発行部  
広報部

【第82号】

# が ん ば

## はじめての校外体験

五月二十八日、四年生の社会科見学、長崎市内の平和公園、下水道処理場など六箇所をまわり、担当のみなさんから説明を聞きまし



(議会のやくわりなどを勉強……長崎県議会傍聴席)

## 家族とのふれあい

教頭 平野 昭 一



私は動植物が、たいへん好きで三小の兎やチャモ鳥を毎日観察し実にほほえましく思います。乳を与えている姿にしても、まつわりつく子を遊ばせている姿にしてもそこに理屈抜き「はだのふれあい」を感じさせます。また、血の流れといったものを思わせます。動物は、このようにして大きく育っていくのです。親子のほほえましいありようを見たとき、深く心をうたれます。まして、人間の親子や家族関係のありようは、動物とは比較にならないほど、まろやかで、しかも密度の高いものでなければならぬと思います。もともと、家族ということばの「族」は「同じ考えや行動のなかま」という意味です。ここで「家族のふれあい」ということが大切になっ

てきます。このふれあいのために第一に必要なことは、できる限り一緒に食事をする、食事をとりながら話しあったり、聞きあったりすることは、家族のふれあいの要です。食事をとることは、心身ともに満足な状態になり、和の形成に重要な役割を果します。第二に必要なことは、家族の者が一定の時間に限り行動を共にすること。散歩でもハイキングでもよい、行動を共にすることは、家族のふれあいの大きな位置を占めることとなります。第三に必要なことは、家族間の適度な緊張と弛緩です。いわば、家族間に「尊敬」と「進取」と「休息」とが適度にないと進歩が訪れてこない、ということ。人間の成長、進歩は家族のありようを無視しては考えられません。以上三点あげましたが、要は家族のふれあいが子どもたちの成長に大きく影響するということ。今後三小の兎や鳥を静かに見守って行きたいと思う。

ぶいでもあいさつを

生活部 佐々川 清 憲

桜の花の下、新学期が始まり早や四ヶ月。子供達もそれぞれ学習に町内活動に頑張っている今日この頃です。

さて、生活部では今年度最初の行事として例年のように生活標語作成に取り組みましたが皆様の御協力により去年より二〇〇点ほど多く一、二〇〇点の応募があり審査にかなり苦労しました。今年は一〇枚づつ配布することとなりました。

ポスターの作成には今年も校長先生の達筆にあまえお願ひしました。今年作品の特徴は「あいさつ」に関する標語が多く見られました。がんば七十七号で平野教頭先生が書いて下さったように、校内と校外でのあいさつに違いがあつてはいけなしいと思ひます。「どこでもあいさつ」のできる児童」ということを考えますと標語を通じ「あいさつ」について認識が高まつてきたのではないかとうれしく思つています。

「親と子」「子ども同志」「親同志」「あいさつの輪を広げたい」今まで以上に明るく環境の三小地区になつて欲しいと思ひます。子供たちにとつて楽しい夏休みが始まるうとじています。とかく長い休みに

なりますと、不規則な生活や心のゆるみにより非行や事故につながることを考えられます。これもあいさつの輪を通じなくすよう御父兄の皆様の御協力を願ひします。さて夏休みに入りますと、生活部・教養部共催で町内訪問を計画して



います。日程等は後日連絡いたします。町内における問題点、育友会に対する要望等をお聞きし、今後の育友会活動又、三小の発展に少しでも役立てばと思ひますので各町内の皆様方の多数の御参加をお願い致します。

昭和60年度

生活標語

入選作品(1)

悪いさそい

はつきり ことわる 良い心  
新山地区 六年 中川由美子  
中川 英喜

さいごまで

やってみようよ なにごとも  
新山地区 四年 大町 美徳  
大町 美徳

明るい笑顔は

ぼくから 君から 家庭から  
新山地区 四年 柴田 京介  
柴田 国弘

ほらそのこ

ごみは拾って くずかごへ  
新山地区 四年 川口真由美  
川口 祐一

「おやすみなさい」を言う前に

わすれず歯みがきあしたの準備  
新山地区 三年 中藪 亜矢  
中藪 信行

一人がおそいとみんながめいわく

時間を守ろう 集団登校  
新山地区 二年 上田 幸香  
上田 幸晴

人の子も わが子も

きびしく やさしい目で  
崩山 二年 松本 憲明  
松本 格治

勇気を出して 愛の一言

「やめなさい!!」  
崩山 一年 松尾 瞳  
松尾 高行

美しい町 美しい学校

一人一人の 心がけ  
坂上 六年 前田 美和  
前田 清徳

忘れるな

名札 宿題 朝ごはん  
坂上 一年 福島 竜児  
福島美代子

さあ実行!

みんなで決めたみんなのきまり  
坂下・八幡 五年 吉岡武一郎  
吉岡 武彦

きれいな学校 ごみのない町

ひとりひとりが気をつけよう  
坂下・八幡 一年 林田 英志  
林田 俊昭

われ先に

出るな 急ぐな 横断歩道  
西八幡 六年 中鶴 典子  
中鶴 利昭

あいさつは

人をまたずに 自分から  
西八幡 四年 田中己香子  
田中 香一

あいさつを かわして

ひろがる 友だちのわ  
栄町 二年 上田 夕歌  
上田 信貞

みちゆく人の めいわくは

いしけり かんけり ふざけっこ  
栄町 一年 中村 孔一  
中村賢一郎

行き先を 告げる

家庭の 伝言板  
蛭子町 六年 古井 淳  
古井 久輝

「ありがとう」「ごめんなさい」

すなおに いる子 やさしい子  
蛭子町 一年 古瀬亜悦子  
古瀬悦二郎

六時のかね

みんなを さそって さあ帰ろう  
桃山町 六年 前森 勝公  
前森 茂

あいさつで

ねぼうの 目つきも さめるんだ  
桃山町 六年 田浦裕一郎  
田浦 利典

出る前に

つげよう ひと言 行き先を  
霊南町 五年 高田 順和  
高田 好輝

しんせつは

すすんで します よろこんで  
霊南町 三年 内長 幸正  
内長 秀友

一生自分の歯で咬めたら、どんなに幸せであろう。痛みや不快感を味わう事なく、何でも咬めれば食事も楽しくなるはずである。

しかし、歯を失なってみて初めて大切さが解る様に普段は余り感ぜないものである。しかし、無くなくなってしまったものは、二度と元口の中にはならないのである。

口の中の疾患で多いのが、むし歯と歯周炎(歯槽膿漏)であるが、おそらくほとんどの人が、このむし歯(う蝕)を持っている事と違います。そこで、むし歯について少し説明してみよう。

最近学校検診をしてみますと、確かにむし歯は少なくなっています。すが、少ない子供と多い子供の、両極端になっています。これは家庭の習慣の差ではないかと思えます。口腔衛生や健康に対する意識が向上した結果、歯磨きを行なう様になって、むし歯が減って来ていると思えます。それではどうしてむし歯になるのか説明してみよう。何故歯磨きをしなければならぬのか？

私達は毎日食事をしています。食物を歯で咬んで小さくして飲み込んでいく訳ですが、どうしても食物のかすが歯に付いてしまいます。どういふ所に付くかと言えは、かすの溜りやすい所、たとえば、歯の溝、歯と歯の間、歯と歯ぐきの間等であり、平面的部分にはあ

まり付きません。当然、その部分からむし歯が始まるのですが、むし歯とは何かと言いますと、歯の溶けて穴のあいた状態の事であり、歯というものは、人体組織の中で一番硬い組織で出来ていますが(骨よりも硬い)しかし酸には弱いのです。口の中にいる細菌の中に、この酸を沢山作り出すのがいる訳で、主にストレプトコッカスミュー

ータンス(連鎖球菌)と呼ばれて、います。この細菌が先ほど出て来ました食物のかすによって多くの酸を産生します。更に、かすの中に砂糖等の糖分が多く含まれていると、糖分は高カロリーです。この細菌はより多くの酸を作り出します。この酸によって歯が溶ける訳です。歯を磨かないでかすをそのままにしていると、その部分を

し歯は進行する事を頭に入れて、寝る前の歯磨きは必ず実行しましょう。この文章を夜書いています。隣の家のお母さんが子供達に「歯磨きはしたね？」と窓越しに聞こえて来ました。嬉しくなりました。今からでも遅くはありません。歯磨きしてかすを取りさっぱりしましょう。特に磨きにくい所を、丁寧に。さあ早速鏡で口の中を、覗いてみましょう。

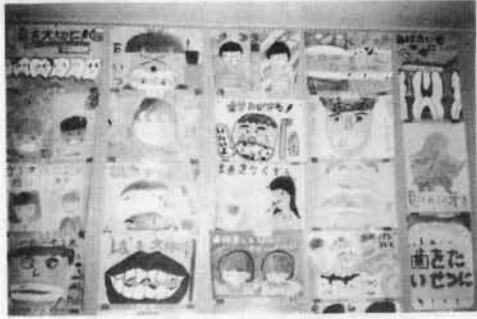
# むし歯の話

## 寝る前の歯磨きを大切に！

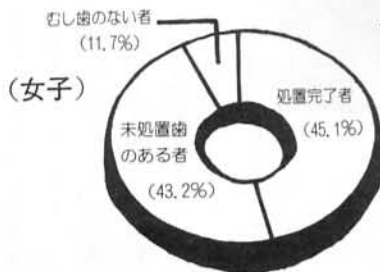
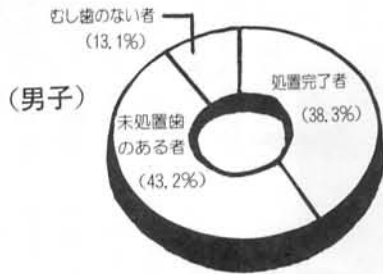
三小校医 渡部哲夫

中心に歯が脱灰(溶ける事)されて穴があき、ほっておくとどんどん大きくなり、やがては歯の神経にまで達して痛みが出て来る様になります。更に、進行すると歯の根から、顎の骨にまで達して腫れて症状は一段と深刻になります。

以上述べた様にむし歯の原因は、①甘い物のかす、②細菌、③歯の質の三つが重要になって来ます。とにかく歯磨きでかすを取りさればむし歯にならなくて済む訳ですから、自分の歯です。大切にしましょう。もう一つ特に、夜間にむ



本校における児童の歯牙疾患状況



# 試食会を終えて

給食部副部長

川口晴美

六月十八日、小雨降るあいにくのお天気の中で、一年生の父兄を対象とした試食会が行なわれました。メニューは、親子うどん、大豆と小魚のあげに、チーズパン、牛乳です。

お陰様で多数の参加を頂き、子供達の学校生活への関心が深い事を、痛感させられました。学校の給食はどんなのだろうか？子供達はちゃんと食べているのだろうか？きっと父兄の方々は、心配なさっていたのではないのでしょうか。

そんな父兄の方々も、保健給食部員が四苦八苦してつぎ分けた。(平等につき分けるのもむずかしいものです)給食を、一口、口にされた時、「あら、おいしかねえ」と、思わず口に出され



た方も、多数でした。

和気あいあいと試食をすませ、子供達の給食風景を見学なさったお父さん、お母さん。

行儀よく楽しそうに食べている様子を見て、すっかり安心なさったようです。

校長先生がお話して下さったように、給食は一度にたくさん作って、大勢で

食べるから、おいしいんですね。

子供達が家に帰ってきて「今日の給食、おいしかったよ」と、言うのが、私達も試食して初めて初めてわかりました。

きっと父兄の方々も、満足して帰られた事と信じます。

毎日、おいしい給食を作って下さる給食係の方々に、改めて感謝致したいと思えます。

ありがとうございます。皆様には大変好評だった事を、ここに報告して、感想とさせて頂きます。

## プール周辺の清掃作業

環境部副部長 吉田則正

環境部としては、プール開き前に、プール周辺の清掃を、年間行事の一環として取り上げ、六月十五日(土)に実施しました。

梅雨の折、一番心配の種は、天候でしたが、幸にして、

天気も良く、

平日にもかかわらず、

校長先生を初め、多数

の先生、代議員の方々の御協力により、私達役員が、当初予定した時間よりも、短時間で、清掃作業も終る事が出来ました。暑い中、大変お疲れさまでした。

ありがとうございます。



で作業もはかどり短時間のうちに、見違えるようにきれいになり、子供達も快適な水泳ができる事と思います。六年生担任の先生はプール周辺の側溝に留まっていた腐葉土を菊造りに利用されるという事で集めておられました。

生徒の良い勉強材料となることでしょう。

ところで昨年各町内にゴミカンが設置されましたが其の後、破損したり不足の場合は、環境部へ申し出て下さいとの事です。

私達大人

◎ 子供達が、待ちこがれている水泳が、安全な環境の中で出来るようにと、今年も環境部主催でプール周辺の草取り整備作業が行なわれました。

昨年は、どしゃぶりの雨の中での作業でしたが、今年はまだ陽ざしも強くなく、先生方及び沢山の代議員さん

がすすんで良い生活環境を作り、「ゴミは護美缶へ」という合言葉で、美しさを護る道徳性を高め子供達と一緒に住みよい町づくりに参加しましょう。

(広報部)

# 研修旅行を終えて

教養部 部員

去る七月三日(水)、豪雨の為延期していましたが、教養部主催の研修旅行を実施致しました。「気軽に参加して見聞を深めよう」という趣旨のもとに、修学旅行コースを一部含む形で、熊本市並びにその近郊を視察地として企画致しました。



時間に追われて、御土産を買うのがやつの様でした。こゝから最終視察地である菊水町の民家村に参りました。広大な土地に国指定の前方後円墳群を始めとして、古くは縄文・弥生式住居から明治時代の商家造りまで種々の時代の民家が移築復元されていました。

制約された時間内の見学でしたが、歴史や科学の一端に触れた事により、日々の生活に追われる中にも、何かロマンめいたものを感じたものの中に持ち続けていた

と思います。乍ら帰路に着きました。

御多忙の中、参加下さいました皆様方、有難うございました。最後に御引率いたゞきました上、天文学や考古学を詳細に解説して下さいました先生方のお力添えがありました事を申し添えて、御報告と致します。

# 学級対抗バレー大会

学級部副部長

川口 克 樹

第八回学級対抗バレーボール大会が七月七日三小体育館において行なわれました。梅雨の時期にもかかわらず天候にも恵まれ多勢参加して頂きありがとうございました。

体育館には前日の子供達の七夕集会の飾りや、習字、絵等が飾られておりました。バレーのついでにお父さん、お母さん方もごらんになられたことと思います。

さて、開会式、準備運動、試合方法、注意等を終え、午前九時予定通り試合開始。低学年、中学年、高学年の順に試合は進められました。低学年はさすがに若いお父さん、お母さんが多かったようです。試合が進むにつれだんだんと熱が入り子供達の声援の中フラインプレー、珍プレーが続出。

例えば力が余って体育館の壁にドッスンのお父さんのサーブ。オーライ、オーライボールは真中に落ちてお父さんとお母さんのお見合い。本格的なア



タックがバシッ!!バシッ!!と決るクラスもありました。うしろでうずうずされたお父さん方も多かったことでしょう。

お母さん方にすべてをまかせてお父さんは応援という一面もありました。それから本大会の主旨は親睦ですがまさにその通りという話がありました。高学年のあるクラスですがお互い交替で出場したあと、まだ低学年に子供さんのいる父兄から、今年で小学校「自分達はまだまだ年も出る機会はあるから、あなた方は最後だから頑張ってください」というほほえましい光景でした。

各学級お互い名前も知らずにいた方もこれを機会に親と子供の顔が一致して親睦がなされたことと思います。最後に校長先生始め諸先生方、又体育部の方々の御協力で進行もスムーズに行き事故もなく終ることができました。本当にありがとうございました。

# 楽しかった 修学旅行

六年四組

田 浦 裕 一 朗

午前八時、熊本に向って出発。目に見えるもの全てが初めて見たように新鮮に見える。

バスは、島原港に着いた。フェリーから島原を見わたすとさびしい気もする。でも、海のががやきが僕の心を安心させた。それから一時間半で松島港に着いた。それ



からバスに乗り本田技研へ向けて出発。

本田技研の中はとてもうるさかった。それもそのはず機械がたくさんある。手作業でしている人もいてとてもいそがしそうに働いていた。僕は、この様子を見て、日本の産業はとてまさかんで大切な仕事だったんだなと思いました。それからバスに乗り阿蘇山へ。

阿蘇山へ着いた。中岳は、僕に「地球は生きているんだ」と感じさせた。それから、バスに乗りホテルに向けて出発。

ホテルに着いた。ホテルに着いたら父母のことを思いだしてさびしくなった。こうしてホテルを出て、熊本城へ向けて出発。

熊本城に着いた。熊本城を見ると、昔の人の頭のよさがわかってくる。

その後、NHK、博物館、民家村などを見学しました。

僕は、みんなためになったと思います。明日からは、今日学んだことを学校生活に役立てたいと思います。ただいま//三小。

おわり



## 野外宿泊訓練

五年一組

吉 岡 武 一 郎

諫早につきました。始めに、三小校旗のけいようです。校歌の一番をうたいました。それからオリエンテーションをしました。かなりながい話をしました。

国立少年自然の家には三つのきまりがあるそうです。一つは、(けじめをつける)。もう一つは、(協力をする)。もう一つは、(ものを大切にする)。

いよいよ箱作りです。のこぎりで板を切りました。ぼくが切るとよがんでしまいました。板をきりおわってくぎをとりつけるしごとをしました。くぎをとりつける

しごとは思ったよりむずかしかったです。板からくぎがとびでたりしました。次にちようつがいをとりつけるしごとをしました。このしごとはかんたんでした。そのようなしごとがぜんぶ終了しました。鳥のす箱が完成しました。とてもうれしかったです。

次はアスレチックでした。始めの方はおもしろかったけど、後になると順番をずっと待たなければいけなかったの、あまりおもしろくありませんでした。

夕食のあとはまちにまったキャンプファイヤーでした。火をつけて歌をうたったり、フォークダンスをしたりして、楽しみました。キャンプファイヤーのあとかたづけをして、自分のへやにいきました。

翌日は、いちばん楽しみにしていた五家原岳登山です。いよいよ出発です。始めの方は道にまよいました。やっとほんとうの道を見つめました。ずっと山道を歩きました。ぼくは登頂のことしか考えていませんでした。いちじ休けいをしました。周りを見てみるともうこんなにきたんだなあと思いました。少しいくとつきました。とてもうれしかったです。その後、本館に下り退所式をしバスにのりこみました。



広報部員になった途端、古い「がんば」を引っ張り出し端から端まで眺め直す。代議員になった途端、夜のバイトのごとく三小詣とあいなる。

息子が百点を取って来ると、あたふたおろおろと教科書を読み直す。

私はこの年になってまた小学生になりました。

でも、育友会小学生としてはとても百点は取れそうにありません。

でもお父さんは頑張るのだ!

今回の「がんば」は歯科医の渡部先生のお話が目玉です。

生活標語は紙面の都合上二回に分けて掲載致します。どうか御一読下さい。

それでは各町内の皆様、事故の無い楽しい夏休みでありますように。